

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
・ 学籍番号			
・ 氏名			
・ 学部	システム理工学部		
・ 学科(コース等)	電子情報システム学科		
・ 学年(渡航開始時)	3年		
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい ☒ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型		
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型		
・ 国・地域名	欧州・スウェーデン		
・ 都市名	ストックホルム		
・ 留学先大学名	スウェーデン王立工科大学(KTH)		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☒ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☐ 半年～1年（2セメスター程度）		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2021年8月下旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☒ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期		
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	KTHがコンピュータサイエンスで有名な学校であり、又、折角留学に行くのならば、レベルのより高い大学に挑戦してみたいと思ったからです。あとは、スウェーデンはIT先進国、SDGs先進国と認識していて、その生活を実際に体験してみたかったというのと、スウェーデンは非常に英語力の高い国だと知って、より英語のある環境に身を置くことができるのではないかと考えたからです。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得しており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	国際プログラムの一環の為。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

履修している科目は3科目と決して多くなかったのですが、大学院の講義なので、自分にとってはレベルが高く、課題もあり、非常に忙しかったです。日本の授業以上に、内容をしっかり理解した上で、自分の考えや意見を相手に伝える、という点が重視されているように感じました。あとは、ペアワークやグループワークが多いという印象を受けました。又、前半のEthical HackingとMachine Learningは、殆どオンライン開講だったので、モチベーションを保つことも自分の中では苦労しました。皆さんが想像している通り、もしくはそれ以上に、他国の学生は積極的に勉強に取り組んでいました。授業の途中でも、気になることがあれば質問するし、本当に意欲的だと思います。そして、先生やTAさんも質問すれば、快く答えてくれます。質問できる機会も多かったように感じます。ですが、意外と履修辞退する人も多く、実際、自分もMachine LearningのLabのペアが途中でいなくなってしまったことがあり、少し大変でした。全体的には、とても勉強しやすい環境だったので、とても良かったと思います。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。
(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Ethical Hacking (EN2720)	単位数 (現地単位数)	7.5
科目概要	コロナの影響で主にオンライン開講。主に事前に提示されたサイト等を参考にしながら、様々なテーマに沿った課題に個人で取り組むスタイルでした。コマンドライン操作やハッキング用のソフトウェアツールを利用したハッキング演習で、内容は、SSHやGoogleクラウドなど幅広いものでした。2週間に1回、サイバーセキュリティに関するゲストレクチャーが実施されました。(出席も成績に加味)全ての課題が終了した段階で、履修者の3～5割ぐらいが口頭試問の対象者に選ばれて、実際にTAさんや教授の前でハッキングを行う。(自分は対象者ではなかったため、詳細は不明。そこまで難しくはないとのこと。)最終課題等は特にありませんでした。		
科目名②	Machine Learning (DD2421)	単位数 (現地単位数)	7.5
科目概要	コロナの影響で主にオンライン開講。機械学習に関する知識を幅広く学びます。授業は、講義14回とLab(演習)3回で構成されていました。講義は、芝浦の講義と同様に、先生の話聞くスタイルでした。Labは予め課題を解いて、それを10分程度でプレゼンテーションする、というものでした。プログラムを直接提出することは無かったが、TAさんに質問されるので、内容をしっかり理解しておく必要があります。最終課題としては、オンラインテストとプログラミングチャレンジ(データ前処理、学習アルゴリズムの選択実装)の2つが課せられました。テストに関しては、過去問が提供されるので対策は十分可能です。プログラミングに関しては、Pythonを利用するため、履修したい方は予め基本的な項目だけ抑えておく比較的取り組みやすいと思います。私はPython未経験で多少苦労はしましたが、調べながら自力で解けるくらいのレベルではあると思います。		
科目名③	Sustainability and Media Technology (DM2573)	単位数 (現地単位数)	7.5
科目概要	コロナによる規制が緩和され、全面対面開講。唯一、学部生が多く、留学生が少ない授業でした。サステナビリティに関する基礎知識やサステナビリティとICT・メディアテクノロジーの関連性に関して広く学びました。授業のスタイルは、1週間に2回の講義(ゲストレクチャー)、1回のセミナー、1回のレポートのドラフト提出、1回のレポート提出(600～1000字程度)というものでした。レポートは全部で5テーマについて書きました。又、講義の前に事前資料としてサステナビリティに関する論文等が配布されるので、それを読んでおく必要がありました。これを読んでと、セミナーにもついていけないし、レポートも書けないので、かなりのページ数であるが根気よく取り組むしかありません。英語力の向上も見込める良い授業だったと思います。最終課題等は特にありません。		
科目名④		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

学習・研究以外では、半年だったので部活やサークルには参加しませんでした。ですが、KTHの日本語授業のボランティアや日本語のLanguage Cafe(日本語を勉強しているKTHの学生との週1回の交流会)に参加していました。そこで知り合った方とご飯を食べに行ったり、ホームパーティーに参加したりしました。最初の頃にはTHSという学生委団体の歓迎イベントも多く用意されていたそうなのですが、私は気付くのが遅くて予約が間に合わなかったです。スウェーデン観光等が出来るようなので、興味がある方は、THSからのメールを確認することを怠らないようにしてください。又、Facebookに留学生イベントの案内がたくさんあるそうなので、パーティー等に参加したい人はFacebookを使って情報収集するのも良いと思います。(私はコロナ感染が怖くて殆ど参加できませんでした。)後は、講義が全て終了してから、フィンランド、エストニア、デンマークへ、KTHで出会った留学生と旅行に行きました。日本から行くよりも格段に安く、手軽に旅行出来るので、非常に良かったです。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

まず感じたのは、多くの学生が、自分のために、年齢に関係なく目的や目標を持って大学で勉強しているということです。KTHには、多様な国からの留学生、自分の親と同じ世代の人や、一度就職してから大学に戻ってきた人、仕事しながら大学に通う人等、色々なバックグラウンドを持つ学生が沢山いました。日本だとあまりないことなので、とても驚きました。学びに年齢は関係ないのだと実感させられたのと同時に、自分も、学ぶことに対して、もっと貪欲に、積極的になろうと思いました。英語力に関しては、自分の力不足を改めて知る良い機会になりました。元々、自分の英語力には自信はありませんでしたが、想像していた以上に通用しない部分があって、もどかしい思いを沢山しました。他のヨーロッパ圏や中国からの留学生やKHTの学生は、ディスカッション等で流暢に英語で話している中で、自分だけがついていけない時もしばしばあり、正直きついと思うこともありました。それでもめげずに食らいついて何とかやりきったことは、自分の自信になりました。それでも、英語力はまだ足下にも及ばないと思うので、今後更に精進していきます。英語でコミュニケーションが取れるようになれば、自分の世界は本当に広がるということを身をもって感じる事が出来、それは今後の英語学習のモチベーションにも繋がってくると思います。このように英語力の無い私でも乗り切れたので、頑張れば出来ないこともないですが、これから留学を考えている方は、より充実した留学生活のためにも、しっかり英語を勉強しておくことをおすすめします。又、個人的に非常に感じたのが、物事に対する考えの深さの違いです。Sustainability and Media Technologyでは、正解のないテーマでディスカッションが行われていたのですが、他の学生が、明らか自分の意見よりも多面的で深い考えを持っているなという印象を受けました。全体を通じて、決して楽な留学だったとは思われないし、明確に学力や英語力が伸びたかは、正直分かりません。ですが、自分の世界観・価値観を広げてくれた、本当に貴重な半年であったことには間違いありません。私は、これまで日本で何となく安定した生活が出来たら良いな程度にしか考えていませんでした。ですが、この留学で他の国からの留学生やKTHの学生との交流、スウェーデンでの生活を通じて、自分の浅さ、世界の広さというのを直に感じました。そして、今の状況では難しいけれども、今後自分の目でもっと多くを見て、経験して、感じたいという心境の変化が生まれました。少しでも自分を変えたいと思う人は、是非KTHの留学にチャレンジしてみたいと思います。そこでの経験全てが、自分にとってかけがえのない財産になると思います。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
コンピュータサイエンスは特に授業の選択肢が多く、その反面、履修登録に時間がかかりました。又、KTHの時間割は日本の大学とは違って、非常に変則的です。出願時に、KTHに履修希望科目を提出するのですが、その段階では時間割が確認できないので、かなり時間割が重複することが考えられます。後で調整できるように、あらかじめ複数候補を考えておくことをお勧めします。勿論、芝浦工業大学と同様で、講義開始1週間程度は履修追加が出来るので、そこまで神経質にならなくても大丈夫です。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
ビザ申請は必要なかったのですが、居住許可の申請が下りるまでに非常に時間がかかり、実際に許可が下りたのが出発1～2週間前でした。なので直前に焦らないために、出来るだけ早めに申請することをお勧めします。申請自体はオンラインなので、そこまで手間はかかりません。しかし、申請時に口座残高(金額指定あり)や保険証書等(英語表記)を提出する必要があるため、必要書類も早めに収集の方が良いと思います。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。
(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
協定校の寮
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
協定校からの紹介
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。
空港から大学までは大学側が手配したバス、大学から寮までは地下鉄
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
地下鉄で約50分程度
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
1人部屋。キッチン、ユニットバス付。共用ランドリー、ゴミ捨て場が4つありました。部屋によって広さは少々異なりましたが、一人で生活するには十分な広さでした。若干壁が薄くて、隣や外で騒いでいると聞こえてくることはありました。スーパーは徒歩圏内、又、少し行けばIKEAや大きめの商業施設もあり、買い物もしやすかったです。(しかし寮の欠陥が発覚し、途中からはホテル滞在)

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	交換留学のため
往復航空券代(往復)	¥196,190	JAL利用、帰国便予約変更のため+¥30,000
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥73,060	大学指定の海外旅行保険
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥0	居住許可申請のみ、英語資格の規定は無し
計	¥269,250	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥60,000	途中で移動等があったので、詳細は不明
食費/月	¥15,000	外食は高い(安くて1000円～)ので基本自炊
その他/月	¥10,000	
計	¥85,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

KTH正面の写真。敷地が非常に大きかったです。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

大学までは約50分程度の距離。

その他、任意の写真



説明文

スウェーデン料理の一つであるミートボール。スウェーデンのレストランの店員さんは、皆さんとても気さくでした。

その他、任意の写真



説明文

ストックホルムの街並み

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。